

研究集会「官庁統計データの公開における諸問題の研究」

科学研究費補助金（基盤研究(B)(一般)） 研究代表者：佐井至道
「秘匿された個票データのリスク評価法の確立と官庁統計データの公開への応用」
統計数理研究所共同利用（一般研究2） 研究代表者：佐井至道
「個票データの開示におけるリスクの評価と官庁統計データの公開への応用」

日時： 2008年10月23日（木）10:00～16:50, 24日（金）10:00～16:30
場所： 統計数理研究所・会議室

10月23日（木）

午前 座長： 佐井至道（岡山商科大学）
10:00～10:30 佐井至道（岡山商科大学・経済学部）
個票データの秘匿とリスク評価における課題
10:30～11:00 川口大司（一橋大学・大学院経済学研究科）
Labor Market Responses to Legal Work Hour Reduction: Evidence from Japan
11:00～11:30 稲葉由之（慶應義塾大学・経済学部）
個票の2次利用における集計上の問題点
11:30～12:00 山田哲夫（南山大学）
国際産業統計に関する既存マクロおよびマイクロ - データの限界と応用

午後1 座長： 稲葉由之（慶應義塾大学）
13:10～13:40 佐藤朋彦（総務省統計局・労働力人口統計室課長補佐）
夫婦の就業状況等と第1子の出生に関する分析
～就業構造基本調査の個票データを用いた少子化問題に関する2次分析事例～
13:40～14:10 山口幸三（一橋大学・経済研究所）
労働力フローデータの作成と分析
14:10～14:40 古田裕繁（国連アジア太平洋統計研修所）
匿名標本データの提供とユーザビリティの検証について

午後2 座長： 大森裕浩（東京大学）
14:50～15:20 福元健太郎（学習院大学・法学部）
What Happens Depends on When It Happens:
Continuous or Ordered Event History Analysis Using Copula
15:20～15:50 寒河江雅彦（金沢大学・人間社会研究域経済学経営学系）
データ集約化と推測のためのノンパラメトリックアプローチ
15:50～16:20 椿広計（筑波大学・大学院ビジネス科学研究科）
量的モデルと質的選択モデルの架橋
16:20～16:50 瀧敦弘（広島大学・大学院社会科学研究科）
個票開示のリスク評価

10月24日（金）

- 午前** 座長： 山口幸三 （一橋大学）
10:00～10:30 伊藤伸介 （明海大学・経済学部）
 マイクロアグリゲーションに関する研究動向
10:30～11:00 秋山裕美 （独立行政法人 統計センター）
 共同研究者： 伊藤伸介, 磯部祥子
 全国消費実態調査を用いたマイクロアグリゲーションの有効性の検証
11:00～11:40 槇田直木 （総務省統計局・調査企画課・統計データ二次利用準備室）
 新統計法に対応した二次利用の準備状況
- 午後 1** 座長： 星野伸明 （金沢大学）
12:50～13:50 佐久間淳 （東京工業大学・大学院総合理工学系研究科）
 データマイニングにおけるプライバシー保護
13:50～14:20 川崎能典 （統計数理研究所・モデリング研究系）
 多次元分割表解析に基づくリスク因子探索
14:20～14:50 井上潔司 （成蹊大学・経済学部）
 分布の双対関係とその応用
- 午後 2** 座長： 大和元 （鹿児島大学）
15:00～15:30 大和元 （鹿児島大学・名誉教授）
 Gibbs 分割について（Review）
15:30～16:00 渋谷政昭 （慶應義塾大学・理工学部・名誉教授）
 多重指標の Ewens-Pitman 確率分割
16:00～16:30 星野伸明 （金沢大学・人間社会研究域経済学経営学系）
 超母集団モデルによる個票開示リスク評価の考え方